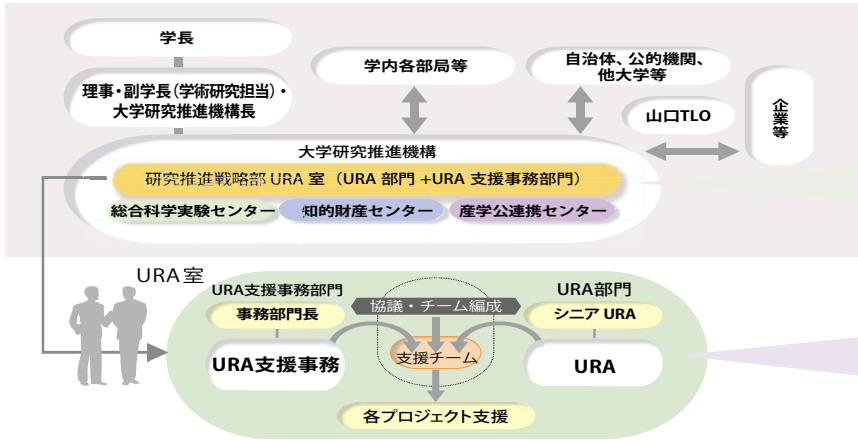


山口大 URA 室の支援体制



シーズ調査から出口戦略までの一貫した支援体制

「大学研究推進機構」内の研究推進戦略部に設置
機構内の「産学公連携センター」、「知的財産センター」、
「総合科学実験センター」との連携が可能

プロジェクトチームで一丸となって研究を支援！

「URA 部門」と「URA 支援事務部門」で構成
URA と支援事務がタッグを組むことで多面的な支援
が実現

URA 室構成員 (平成 25 年 11 月現在)

- URA 室長
- URA 部門 11 名
- URA 支援事務部門 8 名

お気軽にご連絡ください！
ura@yamaguchi-u.ac.jp



業務内容とこれまでの活動

研究戦略提案

研究力分析や研究者ヒアリング等から、研究担当副学長へ研究戦略を提案（大型外部資金獲得研究核、大型プロジェクト（学内研究所、共同利用研究拠点づくり、研究力強化のための施策）。

大型プロジェクトサポート

研究者プロフィール分析システムの構築し、学内の研究力を検討。それによる大学研究プロジェクト（研究推進体）の見直しや、強みを伸ばすサポートを実施。

外部資金申請サポート

外部資金情報の定期的更新と研究者への啓蒙活動、科研費をはじめとする申請書の手厚いブラッシュアップを実施。

広報活動

URA の活動を HP で随時報告。大学の研究広報誌の編集発行を主体的に担当。

産学公連携・地域連携・国際連携

地元企業や自治体との産学連携・地域連携プロジェクトの開拓及び実施の支援、連携大学等など国際連携プロジェクトをサポート。

学術論文作成・発表促進支援

学術英語論文の書き方セミナーを実施。今後、研究成果発表のノウハウ講習のシリーズ化を図る。

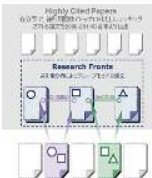
山口大 URA 活動（の一例）を紹介！

トムソン・ロイターとの研究力分析

トムソン・ロイターと共同で、「リサーチフロント手法」による計量書誌学を応用した高度な研究力分析を行いました。今後も引き続き、トムソン・ロイターのデータを駆使して自身の研究力を正確に把握し、世界に誇る「キラリと光る」研究を創出することを目指します。

2-1. リサーチフロント？

RE(リサーチフロント)：
ESIの22各分野・各年の被引用回数TOP1%論文に対する引用情報に基づき、今後注目される可能性の高い研究エリアを抽出。
NISTEPの発行するリメンスマップにも用いられている。
今回利用しているリサーチフロントデータには、7692のリサーチフロントが含まれ、コア論文の数は46,175件。



科研費申請を手厚くバックアップ

○リベンジ企画

前年度の不採択申請について研究者と共に敗因分析を行い、次回申請への対策に助言を行っています。

○申請書作成テクニック集

作成におけるコツ、採択に近づくための申請テクニックをまとめた虎の巻ブックを作成。楽しく分かる、と研究者たちにも好評です。

○ブラッシュアップ制度

研究者が作成した申請書をさらに磨き上げるため、URA が個別指導。希望者や対応数も増加し、さらなる採択増を目指しています。

国際連携プロジェクトのサポート

本学の研究成果を地元企業と共にインドネシアで活用するにあたり、URA が現地ウダヤナ大学との連携の強みを活かしてコンサルティングパートナーとして参加しています。現地ヒアリングや関係機関との調整を行うなど、「国際産学地域連携の新しいモデル」として、活動を支援しています。



ヒアリング風景